

各種地図調整・印刷/地理情報システム
立体地図・地図模型・地図パネル・地図掛け軸
オンデマンドデジタル印刷・大判ポスター出力



株式会社 **アルプス** 出版社

〒461-0004 名古屋市東区葵一丁目15番18号
オフィスサンゴヤ 6F

TEL 052-931-1009 FAX 052-932-1312
http://www.alpspublishing.co.jp/

あかあちゃん

わが町、わが店、この道一筋。出逢いとコミュニケーション あかい新聞店ホームページ <http://www.akai-shinbunten.net> <発行所>あかい新聞店 武豊店/知多郡武豊町字金下37番地 ☎<0569>72-0356 常滑店/常滑市市場町4丁目167番地 ☎<0569>35-2861

夫が戦死した後、女手ひとつで店を経営し

「おかあちゃん」は、呉服商の長女として生まれ、洋服に憧れて21歳で洋装店を創業。

「おかあちゃん」自身が、朝ドラのモデルになりたいたいと言いつつ、毎朝見るのが日課だった。本気で思っただけで行動して、夢は実現出来ると、テレビ画面に釘付けになりながら、ジュンコさんは思う。

ジュンコさんは、毎朝、欠かさず見ている。スケジュールも、ドラマに合わせて組んでいる。ブラジルに去年11月末に行ったが、かの地でもドラマは大人気だったとこ満だ。

「おかあちゃん」自身が、朝ドラのモデルになりたいたいと言いつつ、毎朝見るのが日課だった。本気で思っただけで行動して、夢は実現出来ると、テレビ画面に釘付けになりながら、ジュンコさんは思う。

Nobuo Murakami



元気のでてくる『ことばたち』

村上信夫

(アナウンサー)

ながら、3姉妹を世界的なデザイナーに育て上げた。働き者のおかあちゃんは、ヒロイン糸子のモデルだ。持ち前の明るさと馬力でデザイナーという道を全力疾走で駆け抜け、2006年、92歳でその生涯を全うした。

『向こう岸、見ているだけでは渡れない』とも言っていた。向こう岸には何かがあるのかと、まずは好奇心を持つこと。そして「いつか渡ってみたい」と求め続けること。渡るためには、知恵と工夫を重ね、準備をしておくことだ。

「おかあちゃん」のお店にござろ転がっていた生地を巻く「巻板」を使った遊びが大好きだった。それを使ってお店ごっこが、ジュンコデザインの原点かもしれない。

おかあちゃんが、亡くなって2ヶ月後に生まれた孫娘の名は、おかあちゃんの名から一字もらい「綾」。好奇心の固まりで、おかあちゃんそっくりだ。甘いものより、しょっぱいものが好き。カラスミにも興味を示す。重い荷物を持っても「軽いよ」と意地を張る。そして、「大きくなったら、ジュンコみたいな仕事する」とジュンコばあばを喜ばせる。

■村上信夫プロフィール
NHK エグゼクティブアナウンサー
1953年、京都生まれ。
明治学院大学卒業後、
1977年、NHK入局。
富山、山口、名古屋、東京、大阪に勤務。
現在は、『ラジオビタミン』担当。(ラジオ第一 8:30~11:50)
これまで、『おはよう日本』『ニュース7』『育児カレンダー』などを担当。
教育や育児に関する問題に関心を持ち続け、横浜市で父親たちの社会活動グループ『おやじの腕まくり』を結成。
趣味は、将棋。
著書に『元気のでてくることばたち!』(近代文芸社)
『おやじの腕まくり』(JULA出版局)『いのちの対話(共著)』(集英社)『いのちとユーモア(共著)』(集英社)

きょうがいちばん若いデザイナー コシノジュンコさん

おかあちゃんは、岸和田名物『だんじり』そのもの。曲がり角であろうと、全力疾走で駆け抜けた。周りを振り回しながらも、みんなから愛され、誰からも「おかあちゃん」と慕われた。

『好き心(すきこころ)がはじまり』おかあちゃんは、幼いころミンシンに憧れて、ついに一生の仕事にした。幼いころ、ジュン

『もらうより与えるほうが得や』どんな人にも見返りを期待せず、人が喜ぶ顔見たさでサービスするのが、おかあちゃん。ギブ&ギブ。その精神を自分も受け継いでいる。人にしてもらうより、してあげるほうが自分の幸せにつながる。

フルート奏者として活躍中。俳画家。絵画を幼少より日展画家の(故)川村行雄氏に師事。俳画を華道彩生会家元(故)村松一平氏に師事。俳画の描法をもとに、少女、猫等を独自のやさしいタッチで描いている。個展多数

おかあちゃんからもらった言葉の数々は、今もジュンコさんを励まし、叱り、時には優しく包んでくれる。

おかあちゃんが事あるごとに口にしていた言葉に、『人生、これからや!』がある。80代くらいから、よく言っていた。何でも見たい、行きたい、食べたい!

日記には、『人間、死ぬにも頃合いがある』とも記していた。人間、期限が切れたら、そのときが完成。ジュンコさんも、頃合いが来るまで、精一杯、ガンバルつもりだ。誰にも看取らせず一人で死んだおかあちゃんも、過去の過去。昔は昔。いちいち喜びや成功に浸っていたら、次の一歩が遅れてしまう。いつも新たなスタートラインを追い続けている。

大切なのは、「いま」と「これから」。過去のことを言い出すのはおかあちゃんが一番キライなことだった。思い出しに生きているのではない。いまを生きている!ジュンコさんも同感だ。「きょうの自分が一番若い」のだと思う。



俳画/イネ・セイミ

インディアンフルート教室
開講しました。
誰でも気軽に始めます。
楽しく個人レッスン
受け放題!!

講師 **イネ・セイミ**
(フルート奏者 指導歴30年)
1レッスン1時間5,000円(チャイム代付)
申込み 0569-89-7127
お問合せ seimine@oasis.ocn.ne.jp

ラジオが好き!

村上信夫

好評発売中

俳画教室開講中

常滑屋
とき 月二回 第二・第四金曜日
午後一時~三時
会費 一回二二五〇円(三ヶ月分前納制)
問合せ ☎〇五六九(三三)〇四七〇

慈愛の人・良寛 (81) 杉本武之

良寛と宮沢賢治(その2)
宮沢賢治という不思議な人間が亡くなって80年近くが過ぎました。
極大の宇宙から極小の原子まで、全てのものを内包して生命を燃やし続けた一人の男は、直径15万光年の銀河系の、その一部にすぎない太陽系の、太陽という恒星を回る惑星の一つである地球の、東南アジアに位置する小国・日本の、東北地方の1つの県である岩手県、その南部にある花巻という町で、37年の生涯をどのように送ったのでしょうか。宮沢賢治の一生を概観してみよう。

●賢治の略年譜
・明治29年(1896)8月27日、父・政次郎(22歳)、母・イチ(19歳)の長男として岩手県稗貫郡花巻町(現・花巻市)に出生。家業は質土占着商。
※この年の6月15日に明治の三陸大津波が発生している。

●明治36年(賢治7歳)4月、花巻川口尋常高等小学校入学。卒業するまで成績優秀であった。

●明治42年(賢治13歳)4月、石川啄木の母校でもある岩手県立盛岡中学校に入学。

●大正3年(賢治18歳)3月、盛岡中学校卒業。成績は88名中60番と振るわなかった。上級校への進学が親に認められず、学業に熱が入らなかったためと考えられている。

●4月、肥厚性鼻炎の手術のため盛岡市内の岩手病院に入院。手術後、高熱が続き、発疹チフスの疑いがあり、その手当を受ける。同年、年齢の看護婦に片思いの初恋をする。

●5月末に退院。家業への嫌悪や進学が許されないことから、ノイローゼ状態になる。

●9月、父から盛岡高等農林学校の受験を許可され、受験勉強に打ち込む。同じ頃、島地大等編漢和対照『妙法蓮華経』を読んで異常な感動を受け



妹トシ(3歳)と賢治(5歳)

●大正4年(賢治19歳)4月、盛岡高等農林学校農学科に首席で入学する。

●大正7年(賢治22歳)3月、卒業(得業・証書取得)。4月から研究生(実験指導

●大正8年(賢治23歳)3月、退院した妹トシを伴って花巻に帰る。

●大正9年(賢治24歳)5月、研究生を修了。指導教授から助教教授推薦の話があったが辞退する。

●大正11年(賢治26歳)1月、『春と修羅』に収録される詩篇の創作を開始。11月27日、かねて療養中

●大正12年(賢治27歳)7月、生徒の就職依頼のため樺太(サハリン)へ旅行する。

●大正13年(賢治28歳)4月、心象スケッチ『春と修羅』を自費出版する。

●12月、イーハタヴ童話注の多い料理店を刊行。

●大正15年(賢治30歳)3月31日、花巻農学校を依願退職。翌日、実家を出て、下根子松の別荘で独居自炊の生活を始める。

●8月、羅須地人協会を設立。この頃から、稲作指導や肥料設計の奉仕活動が始める。

●11月、協会の定期集會が開始される。

●昭和3年(賢治32歳)8月、稲熱病や早魃の対策のために奔走し、発熱病臥。実家の別棟で療養。

●12月、急性肺炎で高熱病臥。自宅での療養が続く。

●昭和4年(賢治33歳)4月、東北砕石工場主の鈴木東蔵が病中の賢治を訪問。

●昭和5年(賢治34歳)4月、鈴木東蔵が再訪。賢治は手紙で合成肥料についてのプランを示す。

●9月、東北砕石工場を見学する。

●昭和6年(賢治35歳)2月、鈴木東蔵と契約書を交わし、東北砕石工場花巻出張所を開設。以後、石灰の販売のために東奔西走する。たびたび発熱病臥。

●9月20日、見本(40キロ)を持って仙台発の列車で東京へ。神田・駿河台の八幡館に宿をとる。夜高熱。翌日、父母宛に遺書。弟妹に告別の言葉を書き、27日、父親に電話。父は直ぐに帰郷するように厳命。寝台車に乗り、翌朝、花巻に着く。

●11月3日、病床で手帳に「雨ニモマケズ」を書く。

●昭和7年(賢治36歳)病床で文語詩稿や『銀河鉄道』の夜などの童話を推敲する。

●昭和8年(賢治37歳)9月20日、呼吸が苦しくなり、容態急変。診断は急性肺炎。

●夜7時頃、農民が肥料のことで相談にきたので、1時間ほど付き合う。翌

21日、午後1時30分、永眠。

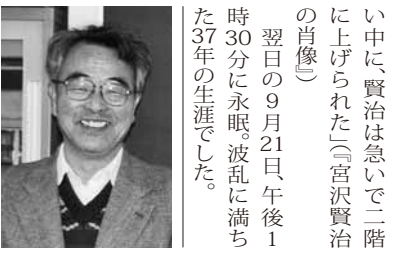
※この年の3月3日に昭和の三陸大津波が発生している。

賢治は、三陸大津波が発生した明治29年にこの世に生まれ、ふたたび三陸大津波が発生した昭和8年に足早にこの世を去って行ったのでした。

●賢治の臨終前夜
よく知られているように、宮沢賢治は死ぬ前日に2人の農民と会っています。その時の様子を友人の森庄巴池は次のように伝えています。

「前夜店先に立つ賢治に気が付いた一農人が、『先生、どうぞお静かに休んでください』と見えたのか、朝訪ねてきた。問いに答える時間が長く、賢治は疲れて具合が悪くなり、急に呼吸が苦しくなって床に臥した。来診した医師は、急性肺炎の兆しがあると云った。

ところが、その夜の7時ごろ、また他の一農人が、来年の稲作や肥料の相談にやってきた。事情の分からない使用人か誰かが病室の賢治に告げると、『そうい



杉本武之プロフィール

う用事なら、会わなくては」と、彼は着物を着替え、店の板の間に出てきてしまった。その人も農村人特有の回りくどい、はつきりしない話をした。足がどんなにひどくても正座を崩さぬ賢治だった。いちいちいいねいに話を受けて答えた。

1時間ほど、父母や弟妹をはらはらさせ通した農人は帰った。それは家人にとつて長い長い時間であり、辛い辛い時間であった。農人の姿が軒先から消えない中に、賢治は急いで二階に上げられた(『宮沢賢治の肖像』)

翌日の9月21日、午後1時30分に永眠。波乱に満ちた37年の生涯でした。

がいがさし・薬膳炊き込みごはん
供茶席 ■ 四日目のバザー 不用品バザー 手作り品スーパーストック 手作り品スーパーストック 手作り品スーパーストック 手作り品スーパーストック

がいがさし・薬膳炊き込みごはん
供茶席 ■ 四日目のバザー 不用品バザー 手作り品スーパーストック 手作り品スーパーストック 手作り品スーパーストック 手作り品スーパーストック

がいがさし・薬膳炊き込みごはん
供茶席 ■ 四日目のバザー 不用品バザー 手作り品スーパーストック 手作り品スーパーストック 手作り品スーパーストック 手作り品スーパーストック

この指とまれ (192) 氏原朝信

「『新聞二世』と学級通信」文庫「スクラム」(11)
「『新聞二世』と学級通信」文庫「スクラム」(11) 氏原朝信
三月には、M君がおたまたま、教室に花が絶えてくることなく、誰かが持ってきてくれたり、Yさんの父が定期的な鉢植えの花や観葉植物を持ってきてくださったことを書いています。また二月になって、前までは、みんながたくさん花を持ってきてくれたのに、今では持ってきてくれないので、教室が暗く感じると訴えていました。二月には、持ちよった花の種を播いて、六年生になった時に教室を花いっぱいにしてしようとする気持ちを書いています。

山 H・K男

この前、山火事があった。そのあとに、今では、小さな木がよびよびと生えている。しかし、木の顔は暗かった。ぼくには、人間は、なんて勝手なんだー
ぼくたちの出す酸素がなければ、生きてはいられないのにー
という声が聞こえてきた。
今では、その山まで人間の魔の手がのびようとしている。(11/28付「スクラム」12)

3/5付「スクラム」22より

とかげ T・M男
とかげは、気持ち悪い。とかげは、へびの顔をしている。ぼくは、とかげが嫌い。とかげのしっぽがきれても、また生えてくる。手品みたい。
兄 M・Y女
兄は、とてもおこりんぼう。だから、私もとてもおこりんぼう。私は、兄に似たのかな。

料理研究家 長澤晶子のSPEED★COOKING!
乾燥しているお肌にうるおいを...
今話題の 鶏コラーゲン鍋

(4人分)
A 鶏肉(骨付)・・・1kg
水・・・8カップ
ねぎ(青い部分)・・・1本
しょうが(うす切り)・・・4～5枚
B 酒・・・1/2カップ
しょうゆ・・・大さじ2
塩・・・適宜
C 春菊、せり・・・1束(食べやすい大きさに切る)
大根・・・1/2本(皮をむきスライサーで縦にうす切り)
にんじん・・・1本(大根と同様)
白ねぎ(白い部分)・・・1本(斜めのうす切り)

作り方
①鍋にAを入れ中火にかき、アクと脂を取りながらゆで、スープを作る。→一度、こして鍋に戻す。
②①にBを加え調味する。
③②が煮たったらCを加える。全体がしんなりしたら完成。
我が家では最後に細いラーメンを入れ、あっさりコラーゲンラーメンにします。ラー油や豆板醤を入れても体が温まりますよ。

常滑市民文化館
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(1) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(2) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(3) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(4) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(5) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(6) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(7) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(8) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(9) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(10) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(11) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(12) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(13) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(14) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(15) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(16) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(17) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(18) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(19) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(20) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(21) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(22) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(23) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(24) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(25) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(26) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(27) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(28) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(29) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(30) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(31) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(32) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(33) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(34) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(35) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(36) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(37) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(38) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(39) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(40) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(41) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(42) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(43) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(44) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(45) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(46) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(47) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(48) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(49) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(50) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(51) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(52) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(53) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(54) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(55) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(56) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(57) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(58) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(59) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(60) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(61) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(62) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(63) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(64) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(65) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(66) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(67) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(68) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(69) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(70) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(71) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(72) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(73) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(74) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(75) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(76) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(77) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(78) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(79) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(80) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(81) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(82) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(83) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(84) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(85) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(86) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(87) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(88) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(89) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(90) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(91) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(92) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(93) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(94) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(95) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(96) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(97) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(98) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(99) 日(開場)午後七時
常滑市民吹奏楽団 第三十七回定期演奏会(100) 日(開場)午後七時

誠意をこめて安心のお手頃
年中無休・24時間体制
大阪屋葬祭
常滑ホール / 鬼崎ホール / 阿久比ホール
TEL(0569)35-4949 (代表)
FAX 35-4911

知多の新鮮たまご
発酵ケイフン
(有)知多エッグ
知多郡豊二ツ峯380
TEL0569-73-6341

新シリーズ ヒューマンライフ

『新・現代家庭考』就職

—自分ドラマつくろう— (12) 岡田 清治

結婚

前島は普段より早い通勤バスに乗った。研究所の木々も秋の装いの準備をするかのように、ハナミズキの葉が少し色づき始めていた。職場に着くと、開発二課の庶務の女性が、応接机の花瓶に白とピンクの秋明菊を活けていた。「おはよう。きれいだね」

「前島さん、おはようございます。今朝は早いですね」

「一台早いバスに乗ったのです」

「そうですか。何かいいことありそうですね」

「何もありません」

社内で口を滑らすと、その日のうちに伝播していく。女子社員のネットワークは大変なものだと感心したことがある。

ある日、昼休み、応接のソファでくつろいでいると、同期入社管理課のA子がやにやしながら前島の向かいに立った。同期の飲み会で気が合い、時々、喫茶店でコーヒーをこちそうしていた。

「久しぶりだね。元気にしているの。コーヒーでも飲みに行こうか」

「ごちそうしてくれるの」

「いいよ」

周囲には誰もいないと見て、A子は喫茶店に入って注文が終わると、「あなたの課のB子さん、うちの課長とできているみたいよ」と、わざわざ報告して注意を促した。

「まさか」

「前島さんはじめで、社内事情に疎いよ」

「…」

「みんな適当に遊んでいるみたい」

「君もそうなの」

「嫌ね、不倫なんかしません」

「不倫ね」

「今の時代、女性の方が積極的なよ」

前島は挑発を受ける感覚になった。

「そんなものかな」

しばらくしてA子の知り合いが声を掛けてきたので、A子は「ごちそうさま」と一札をして席を移った。一人になった前島はA子が言った「不倫」という言葉を反すうしながら学生時代のある夜の事を思い出して瞑想に陥った。

その夜、下宿の先輩が「前島、筆下しに連れて行ってやる」と前島の部屋に入ってきた。先輩は福岡の遠賀川の川筋の気風を持つ、炭鉱夫のような豪放な風貌を見せていた。

「筆下し？」

「そんなことも知らないのか」

「昔は遊郭で筆下しと言ってな、まあ、性教育の実地訓練のようなものや」

「遊郭もないのに、そんなことできる場所があるのですか」

「確かに売春はとくに禁止になっているが、人間の欲望は法律では止められんや」

「まあ、そうですか…」

「これも社会人になるための必須科目や」



プロフィール

著者：岡田清治 おかだせいじ

一九四二年生まれ ジャーナリスト

(編集) ロダクション・NET108

代表 著書に『心の遺言』

『あなたは社員の全能力を引き出せますか!』

『リヨンで見た虹』など多数

※この物語に対する読者の方々のコメント、体験談を左記のFAXかメールでお寄せください。今回は「就職」「日本のゆくえ」「結婚」についてです。物語が進行する中で織り込むことを試み、一緒に考えます。

FAX：0569-3417971

メール：takamitsu@akai-shinbunnet



オークランドの原生林(ニュージーランド)(筆者撮影)

先輩は前島の返事を待たずに、催促した。

二人は浅草の仲見世商店街から横道にそれた薄暗い仕舞た家風の玄関口一間あまりの古びた家屋の前に行った。二人はレインコートの襟を立てて顔を隠すようにしていたので、下足番の婆さんは「てっきり刑事やと思いましたが」と、半開きの玄関の後ろに身を潜めた。

「なんや、いつもの学生はんやないか。びつくりするがな」

「寒いからな。若い女頼むわ」

婆さんの手を握って五百円札を握らした。

「わかりました」

二人は二階に上がった。すると先輩は終わった玄関で待っているよ」と声をかけると、若い女を連れてさつさと奥の部屋に消えた。

後には年増の女と前島が残った。

「あなた、はじめてか」

「…」

「何も怖がることない。早ようしてな」

「そう言うとならカプセルのようなものを手揚げから取り出して自分の股下をまさぐった」

「あなた、ゴムはめるの」

「…」

「大丈夫や。その座布団二つに折って枕にするのや」

筆下しが女郎部屋の四畳半の畳ベッドである。前島は気が滅入ってきた。

「そう言えば、先輩と酒を飲んだ時、「女と遊ぶ時は、抗生物質を飲んでおけよ」と、見透かすように忠告していたことを思い出した。「そんなもの持参してないぞ」と、薄暗い部屋で年増の女の顔を見ながら心の中で叫んだ。

「はよせんと…」

「…」

前島は茫然と立ちすくんだ。

「これで、堪忍してください」

「なにもしないの」

「はい、そういう気分になれんです」

「そうか」

「おい、前島、まだか」

先輩が部屋の外から声をかける。

「いま、行きます」

二人は黙って外に出た。外気が熱い頬を冷やす。「ここで一杯、飲んで行こうか」

先輩は屋台の椅子に腰を下ろし「熱間、頼むわ」と注文した。

前島も隣に座った。

「どうや、よかったか」

「あんな年増女ではええはずがありません」

「筆下しはああいう女がいいのや、なあ、大将」

「はあ…」

実はこれがトラウマとなって、それ以後、前島は女性とうまく付き合えないと思ひ込み、性行為に対して臆病になったのである。先輩と別れた後「勃起しない」と思い悩む日が続いた。誰にも相談する勇気がでない。このままでは勉学にも差し支える。

その思った前島は「クリニック」の看板が掛っている医院のドアを開けた。幸い、誰もいなかった。

「どうなされました」

「年の師匠がたずねる」

「あ…」

「そうか、遊んで心配になったんやな」

「そうではないのですが…」

「血液検査しようか。一週間後に結果が出るので、また来てください」

「違わんです」

「勃起不全といいますが、うまく性行為ができないような気がするのです…」

前島は恥ずかしくてうまく話せないが、精神的にダメではないかと思ってしまうという意味のことを伝えた。

「それは軽い心因性機能障害ですね」

前島は羞恥心に耐えなければならぬと決心した。それでもここを去りたいと思った。

「マスターベーションで射精はできるのだから」

「まあ、はい」

「それなら大丈夫や」

「もう少し様子を見たらどうですか」

「はい」

前島は若かった。今なら何でもないのだが、まじめで潔癖な性格が障害を起こしたのである。大学を卒業して社会人になっても、薄暗い部屋で年増の女と密会したことが頭をよぎることがしばらく続いた。

会社の宴会で隣に座った元ラグビー選手だつという男は、「俺たちは部の飲み会で先輩からいろいろ教えられた」と、青春を謳歌してきた話を披露した。

「新入部員は全員、パンツを脱がされたよ」

「恥ずかしいの」

「そら、恥ずかしいが、断れないのだ」

「局部に湿ったタオルを吊るすのや」

先輩たちは興味津々に笑いながら見ている。

「おい、あいつのはすこいな」

今頃は、こんな野蛮なことをしたら部員が集まらないし、週刊誌のネタになって、下手すれば停学処分になってしまう。

ふと気づくと、A子が喫茶店から出て行くところだつた。

「A子が話していた社内不倫の話、本当かな。火の氣のないところに煙は立たないのか」と、今度はA子が話したことが頭を過った。

今の社会では性道徳が乱れている。雑誌やビデオに性描写が氾濫している。東京都は条例でいかがわしいマンガ本などを排除する動きを見せている。中学生からセックスに関心を持っている。このため、小学校から保健の時間に性器について教え、赤ちゃんがどうして生まれるかなどを学ぶ。中学生になると避妊についても教えている。前島の時代には考えられなかった。

友人が会社から自宅に帰った時、小学生の女の子が玄関に出てきて「ベニス」と大きな声で発したので、驚いてひっくり返りそうになったと聞いた。

一方で草食系と言われる男が増え、セックスを回避していると聞く。「結婚はわずらわしくて嫌だ」という若者も多い。夫婦生活を想像するだけで結婚回避する。親子で性教育の話は、就職の話以上に難しい。

前島は今夕、デートするというのに邪念のようなことが浮かんで消える。

(続く)

常滑幼稚園・園児の作品

2

エルマーとりゅう



かたおか たいき



あんどろ ゆうや



うおずみ ひろと



あかい さき

先月号に引き続き、
2回に分けて
掲載させていただきました。

「元気な一年生に
なります!」



わたなべ まなか



むた しょういち



とみおか はるき



なかむら ほしと



いな ともひろ



みずかみ はるひ



すずき あんず



かしま りか



いとう みずき



たけだ こうすけ

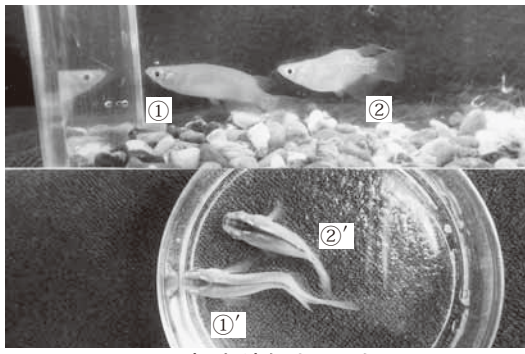


えぐち はるき

知多の動植物雑記(二八二)

原 穰

写真①②共に、昨年八月知多半島北部の川で捕った奇型のメダカ。捕った時は写真②のずんぐり型のもの(上から見れば②が三匹、写真①の背骨が曲がり(上から見れば①が匹だつた)とに角、水槽で飼つてみようと、家へ持ち帰り、水



この奇型 遺伝するのかな

しまった、せめて奇型種だけでも家の中に入れてやればよかったのにと思う。たが後の祭り。で、早速生き残った①②を別の小さな水槽に移し家の中へ。そもそも家で飼つてみようという思いは、三年前のこの項で記した「奇型のメダカ三匹も」

槽での飼育が始まる。勿論水槽は家の外で。一応気を付けて、真夏の直射日光は避け、寒くなれば、日当りを良くして、気を付けていた筈なのに、十二月に入ると寒さが増した頃、ふと見た水槽の底にずんぐり型が二匹沈んでいた。

を思い出した。奇型の原因は前にも記した通り孵化直前に、回転するような水域に入ると起こり易いということであるが、とに角、同じ川で三年間も連続して捕れるというのには、ひよとして遺伝もある程度考えられるのでは、この思いから、確かめてみようとなった次第。

ちよつとおじやまします

伊藤 甚秋さん



焼き物を始め、40年余りが経った。甚秋さんといえば、高さ5センチ程の平たい急須を作ることで有名な作家だ。急須を平たくすることで、茶葉は重なることなく煎茶を余すことなく楽しむことができる。



代にも煎茶を楽しんでもらおうという甚秋さんの思いがこの作風となった。流行を追うのも嫌だけれど、自分らしいスタイルで楽しみたい。甚秋さんのいち押し作品は、20日(火)25日(日)まで常滑屋さんに北折義孝さんととの2人展で見ることができ

郷土を知る(百七十三)

奥川 弘成

郷土



村と村を結ぶ道

武豊町歴史民俗資料館で開催している歩く会は、平成四年六月に開講した「町を歩こう会」が前身です。毎月一回、「町の生い立ちを、移り変わりを訪ね歩こう」をテーマにはじまりました。それから二十年がたとうとして、名前を「町を

武豊町歴史民俗資料館で開催している歩く会に名称を変えてはいますが、今も続けている長寿企画です。この企画のおおもとが始まりは、町を知らないで町を語るができない反省から生まれています。武豊町は、東西に四・八km、南北六・五kmのおおよそ

二五・八kmほどの町です。一日がかりで歩けば一周できる小さな町です。そんな町も江戸時代には、肩を寄せ合うように江尾尾村、大足村、東大高村、富貴村、市原村の五つの村に分かれていました。それでも隣り合う村は身近なようで隣村はおいそれと立ち入ることはしていなかったようです。

おおよそ東浦と西浦を分ける半島の中央部の丘陵地に尾崎街道と合流したりして各村へ歩んだ跡をたどり行く道へのこだわりが重く

ものをだと思えてきます。それは、行く先々に不案内な人を助ける道しるべ地蔵や合戦や武将の伝説があったり、不用意に隣村に立ち入ることを戒めるかのようなキツネにまつわる言い伝えが各所にあります。

江戸時代の武豊町の集落があった場所はおおよそ三つに分けられます。海岸沿いの低地にある馬場や市場、小迎、浦島、富貴市場、笠松など。

江戸時代の武豊町の集落があった場所はおおよそ三つに分けられます。海岸沿いの低地にある馬場や市場、小迎、浦島、富貴市場、笠松など。

江戸時代の武豊町の集落があった場所はおおよそ三つに分けられます。海岸沿いの低地にある馬場や市場、小迎、浦島、富貴市場、笠松など。

をたどる道です。そこは、隣町に買い物にでかけるには気軽に人の往来ができた道です。ですから、自然と幹線道路には商店街が発達しました。武豊町本町通、JR東海武豊駅のある駅前通りなどがそれぞれにあたります。

江戸時代の武豊町の集落があった場所はおおよそ三つに分けられます。海岸沿いの低地にある馬場や市場、小迎、浦島、富貴市場、笠松など。

江戸時代の武豊町の集落があった場所はおおよそ三つに分けられます。海岸沿いの低地にある馬場や市場、小迎、浦島、富貴市場、笠松など。

江戸時代の武豊町の集落があった場所はおおよそ三つに分けられます。海岸沿いの低地にある馬場や市場、小迎、浦島、富貴市場、笠松など。

江戸時代の武豊町の集落があった場所はおおよそ三つに分けられます。海岸沿いの低地にある馬場や市場、小迎、浦島、富貴市場、笠松など。

江戸時代の武豊町の集落があった場所はおおよそ三つに分けられます。海岸沿いの低地にある馬場や市場、小迎、浦島、富貴市場、笠松など。

江戸時代の武豊町の集落があった場所はおおよそ三つに分けられます。海岸沿いの低地にある馬場や市場、小迎、浦島、富貴市場、笠松など。

若竹俳壇

毎月十日までに集めて

- 吉田ひろし 春の頬打つ風を固きまま 寒の富士白の梅姿を湖に 空埋めて紅白の梅咲き乱れ 春の風邪甘へる人の無き暮し 寒椿花一つ落つ今朝の庭 ちよつとおじやまします

- 吉田ひろし 春の頬打つ風を固きまま 寒の富士白の梅姿を湖に 空埋めて紅白の梅咲き乱れ 春の風邪甘へる人の無き暮し 寒椿花一つ落つ今朝の庭 ちよつとおじやまします

わが家のニューフェイス



稲垣 莉亜 (4歳3ヶ月) 律月 (2歳5ヶ月) 武豊町長宗

写真・文	かけしたイア。	いっぱい電車や車に乗って、お出	す。お姉ちゃんとかママと、	ドウタイエローを見てみたので	黄色い新幹線です。いつか本物の	なのは、ドウタイエローという	で遊ぶのが好きです。中でも好き	いたり、プラレール	んと一緒に絵を書	4歳の莉亜お姉ちゃん	稲垣律月2歳です。
------	---------	-----------------	---------------	----------------	-----------------	----------------	-----------------	-----------	----------	------------	-----------



愛と My Family



近藤 快音 (1ヶ月) 常滑市かじま台

写真・文	週末が楽しみなんだ。	近藤 英里	僕は名前は快音。	僕のママのお腹の	僕のママのお腹の	僕の名前は快音。	僕のお腹の	僕のお腹の	僕のお腹の	僕のお腹の	僕のお腹の	僕のお腹の	僕のお腹の	僕のお腹の	僕のお腹の	僕のお腹の	僕のお腹の	僕のお腹の	僕のお腹の	僕のお腹の	僕のお腹の
------	------------	-------	----------	----------	----------	----------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------



人と人をつなぐ 『かけ橋』になりたい



タオル・繊維商品及び輸入雑貨等総合卸

名城商事株式会社

愛知県名古屋市中川区乗越町1丁目37-3
TEL (052)362-1531(代)

東 良寛と比較する古今東西の偉人たち

西



良寛と時空を超えた東西の偉人たちとを徹底比較

半世紀にわたる研究成果がここに結実
良寛はボランテニアの先駆者だった

慈愛の人

良寛

杉本武之

四六判 ● 上製カバー装
ISBN978-4-88520-145-5

「あとかき」より
どうだい、わが恋人はすごいだろう。

発行: ちたるまん
発売: 中部経済新聞社
定価: 2,100円
本のご注文はあかい新聞店へ